

【事業報告】

団体名 K B F

テーマ つくる楽しさ、装う楽しさを地域の若者に

リ ヴァ イ ヴ

企画タイトル

Revive

1. K B F について



1. K B F について

専門学校

金沢文化服装学院 2025年度 卒業年次生15名による団体。普段は、服づくりや販売、スタイリング等、ファッションビジネス/クリエイションについて学習。製作課題に、アルバイトに、就活に… 忙しい毎日。



2. K B F 立ち上げの理由



2. K B F 立ち上げの理由

代表：遠田は“さとり世代”、“Z世代”、“初の18歳成人世代”

2004年 誕生

金沢ファッション産業都市宣言
新潟県中越沖地震

2006年 金沢フォーラス開業

2008年 幼稚園入園
リーマンショック
iPhone登場

2011年 小学校入学
東日本大震災

2016年 熊本地震

2017年 中学校入学
北朝鮮ミサイル問題多発

2018年 北陸豪雪

2019年 gigaスクール

2020年 高校入学

新型コロナ流行

入学式中止→3か月休校
全ての行事が中止/大幅縮小
全ての部活動・大会中止
友人と遊びに出かけることの禁止

2021年 東京五輪
白山イオン開業

2022年 大学入試新制度導入
共通テストがより難関に
安倍元首相暗殺

2023年 コロナ明け
成人式
金沢文化服装学院に入学

2024年 令和6年能登半島地震

2. K B F 立ち上げの理由

代表：遠田は今年度卒業 → 2026年4月から社会人

K B F の立ち上げ
チャレンジ事業への応募

自主自立

他者との交流
= 自分を知る

成功体験を得る
= 自分への自信

3. 背景と課題



Revive

※実は金沢はファッション産業都市



金沢ファッション産業都市宣言 2004(平成16)年6月22日議決

私たちのまち金沢は、かおり高い伝統文化を培い、独創性に富む職人の技を受け継ぎ、蓄積された学術とのつながりをもって、独自の産業・文化を発展させてきた。

この土壌を活かし、繊維はもとより、生活文化すべてにかかわるファッションの分野において、質の高いものづくりを推進し、新たな産業を育て、都市の活力をさらに高めようとするものである。

このため、私たちすべての市民は、

1. 異文化、異業種との交流、融合によるファッション産業の振興

1. 産業と学術の連携によるファッション研究の推進

1. 豊かな感性あふれるファッション創造のための人材育成

を基本に、**世界をリードするファッション産業都市づくりを進めていく**ことを宣言する。

ちょっと言い過ぎな部分もあるけど

※実は北陸でファッションの全てが揃う

糸もファスナーも織ネームも
リボンもレースも紐・ゴムある。

その他、染色工場、後加工場、縫製工場なども多数あり、**実は、糸から商品の企画～製造～販売まで、ファッションビジネスの全てが、ここ北陸だけで完結し得る。**



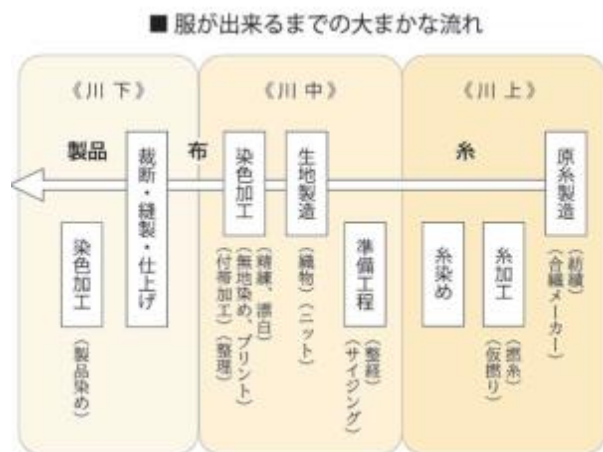
ナイロン、ポリエステルなどの織物生産量は石川県だけで国内シェア約4割、福井県と併せると約7割。



織が中心だけど、実は編もある。

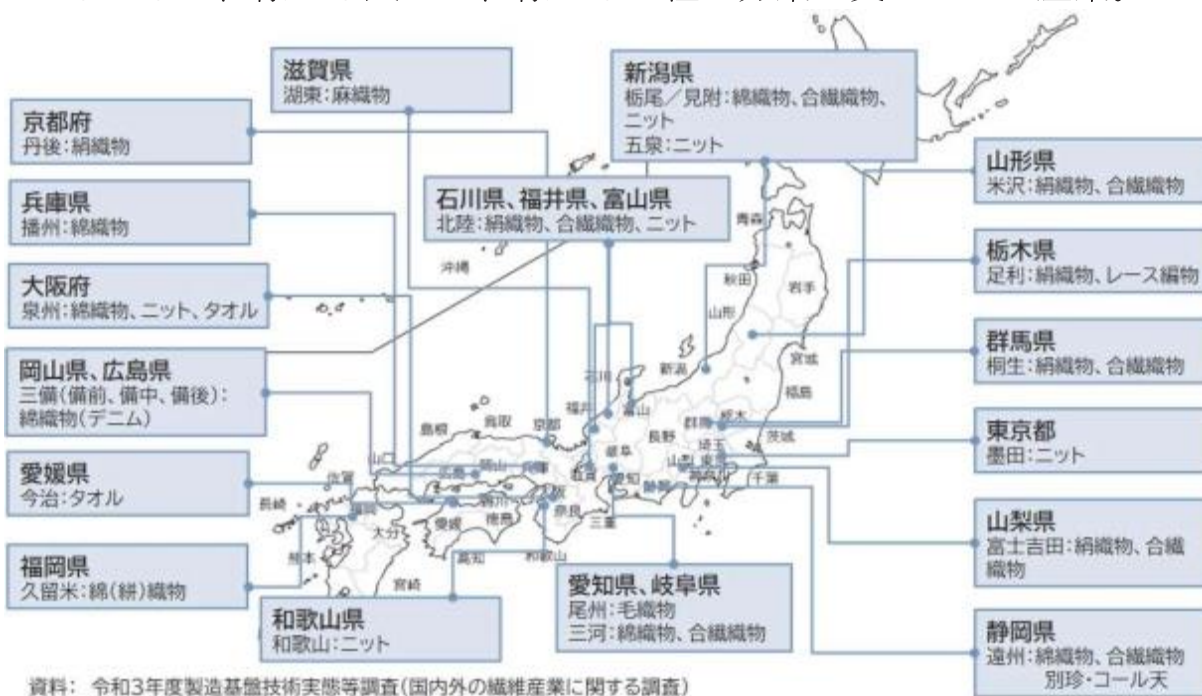


※実はファッションは未だ分業型産業



糸をつくる人・企画する人・染める人・加工する人、
 生地を織る・編む人・企画する人・染める人・加工する人、
 生地以外の資材をつくる人・企画する人・加工する人、
 それらを使って服をつくる人・企画する人・染める人・加工する人、
 などなど、様々な人々が、様々な工程を分業で支えている産業。

日本の繊維はその技術・クオリティの高さから、世界中のブランドから信頼と注目を集めている。




その土地の気候や風土などに影響を受けながら発展・拡大して来た国内の「産地」。産地内のそれぞれの企業が、それ以外のそれぞれの企業と相互に機能し合っ「産地」が成り立っているため、**どこか一社が倒産すると、他の企業にも連鎖し、ともすると、「産地」全体が消滅することにもなり得る危険性アリ。**



年に10回程度、タテマチやフォーラスなどで販売会や展示会を開催しており、少しずつですが、リピーターも増えています。

3. 現状の課題


 R4.9.29 経済産業省 生活製品課
 「繊維産地を有する地方公共団体における
 課題と対応策等について」より↓

2. 各地方公共団体における主な課題と対応 (1) 人材確保

- 各繊維産地における最大の課題は人材の確保。特に、若手の新入社員の獲得だけでなく、新型コロナウイルス感染症による入国制限により、外国人技能実習生の入国が難しい状況。
- この状況の中、一部の自治体では、地元の商工団体の協力を得て、地元繊維企業へのインターシップや人材育成塾の開催などを行っているところ。
- また、就職先の候補となり得る繊維企業の業務内容の把握や社員のキャリア形成等をHP等で積極的に発信していくことも効果的。

地方公共団体から寄せられた声

- 給与、待遇、勤務形態の面で、他の製造業と比較し劣後する部分もあり、若手人材の確保が難しい。外国人技能実習生に頼らざるを得ない状況。(石川県)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で外国人技能実習生が入国できず、人手不足が続いているなどの声を聞いている。(福山市)
- 人材確保は最大の課題。県内約1000社のうち、日本人新卒を取れているのは数が大変少ない状況。仕事はあっても人材不足で生産が追いつかない。(福井県)
- 県内製造業における人手不足が続く中、本県の主要な地場産業である繊維産地の中小企業においても、従業員不足や高齢化が大きな課題となっている。加えて新型コロナウイルス感染症の影響などで一部廃業も進み、発注や受注が思うようにできないなど産地のサプライチェーンの維持に不安を感じる声も聞かれる。(愛知県)
- 繊維産業の産業基盤下などによる販売店の閉鎖や生産設備の老朽化、部品の不足による生産量の削減、高齢化や技術者不足による人材確保の課題も多い。(京都府)

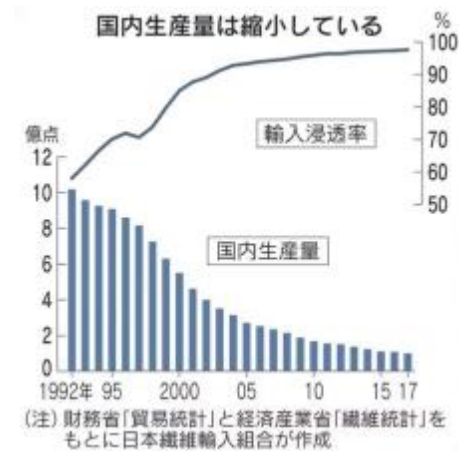
● 各繊維産地における最大の課題は人材の確保。特に、若手の新入社員の獲得

地方公共団体から寄せられた声

- 給与、待遇、勤務形態の面で、他の製造業と比較し劣後する部分もあり、若手人材の確保が難しい。外国人技能実習生に頼らざるを得ない状況。(石川県)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で外国人技能実習生が入国できず、人手不足が続いているなどの声を聞いている。(福山市)
- 人材確保は最大の課題。県内約1000社のうち、日本人新卒を取れているのは数が大変少ない状況。仕事はあっても人材不足で生産が追いつかない。(福井県)
- 県内製造業における人手不足が続く中、本県の主要な地場産業である繊維産地の中小企業においても、従業員不足や高齢化が大きな課題となっている。加えて新型コロナウイルス感染症の影響などで一部廃業も進み、発注や受注が思うようにできないなど産地のサプライチェーンの維持に不安を感じる声も聞かれる。(愛知県)

- ファッションの語源はラテン語のファクティオ。
 - 服という意味ではなく、生み出す行為と言う意味。
 - 突き詰めると、生き方、価値観と言う意味に発展。
 - ✓ 安いことは良いことか？
 - ✓ 易いことはいいことか？

- このまま行くといずれ**国内で服がつくられなくなる**かも！？
 (国内に流通する衣料品における輸入浸透率は現在98%超)



4.3を解決に近付ける私達の企画概要



4.3を解決に近付ける私達の企画概要①

【予】ファッションショー@8/23(土)新天地まつりほか



8/23(土) 20:30～ ファッションショー @金沢新天地商店街 (観客約200人)



●出品作品

①kuron(クロン)

学生がデザインから縫製まで全て手掛けたのリメイク作品。

②meaning(ミーニング)

学生がデザインし、縫製は北陸の縫製工場に委託したリメイク作品。

※生産過程には学生もインターンとして参加

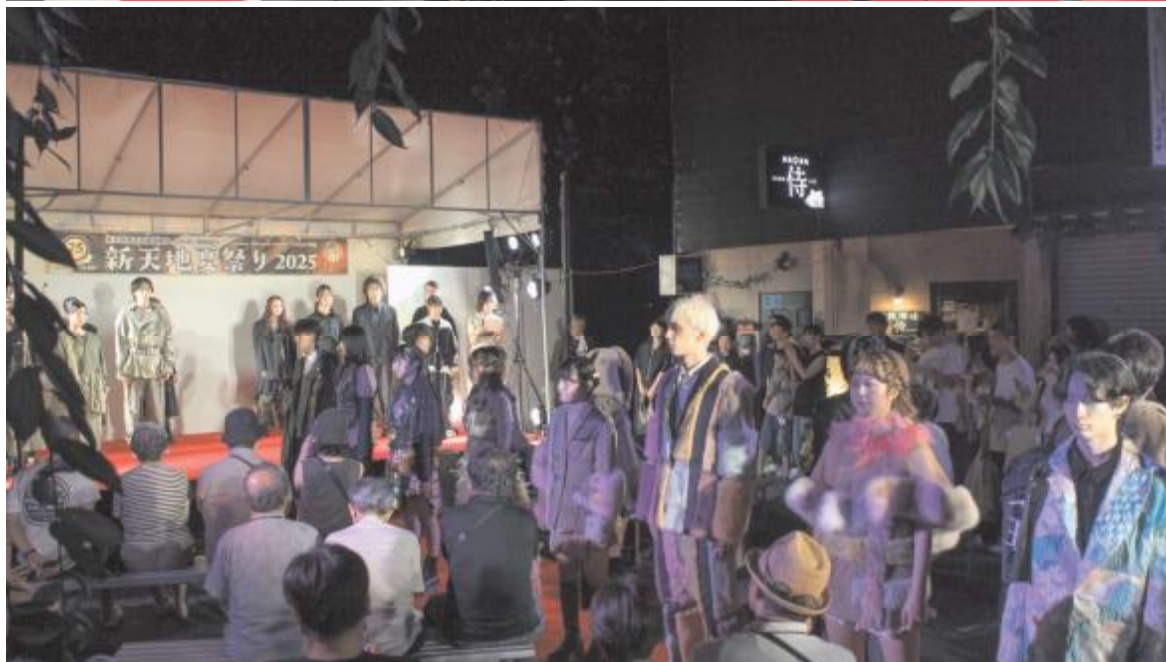
③卒業生のアーカイヴ作品

リメイク、リデザインの要素が強い20作品。

※当日のモデルに、その作品を在学中に着用していた地元のニットメーカーに勤務する卒業生を起用

●ショーの概要

冒頭と終了後に、KBFの活動目的や、当企画の開催目的、作品の説明、次回9/20(土)-28(日)のイベントの告知を入れた7-8分程度のアナウンス。一部：kuron(19体)、二部：meaning(20体)、アーカイヴ(20体)の3部構成で約40分のコンテンツとした。



4.3を解決に近付ける私達の企画概要②

【予】ワークショップ@9/20(土)-28(日)金沢フォーラスSDGsWEEKほか





↑
WSの他、学生が国内の縫製工場と一緒
に手掛けた商品の展示・販売会場を設
置し、それらをきっかけに、WS参加
者や来場者との交流を図った。

←金沢大学生にDJプレイを依頼。
KBFの学生はもちろん、KBFの学生
が間に入ることで、ミヤモリ社のス
タッフの方々、金沢美大生とも積極
的に交流を図った。

金沢フォーラス1-2・6階エスカレー
ター横で、8/23(土)新天地ショー
で着用したアーカイブ作品等を展示。
会場への誘客を図った。



9/20(土)21(日)23(火・祝) 株式会社ミヤモリ社員、本校の学生による高校生対象【リメイクソーイング】体験 17名/3日



9/27(土)28(日) ワークショップ部ちきゅう(金沢美大生)、本校の学生による一般向け【キノコの庭園をつくろう!】体験 29名/2日



@金沢フォーラス6階KUUGOスクウェア

SDGs WEEK
9.20(sat) - 9.28(sun)

衣料品製造の過程でどうしても発生してしまう残布や端材を活用したモノづくり体験を通じて、素材に直に触れられる場、サポーターや参加者同士の交流の場、そして、それらによる新しい発見が生まれるモノづくりを目指します。

リメイクソーイング体験
9/20(土)・21(日)・23(火・祝)
13:00-17:00

服づくりのプロをサポーターにお迎えし、参加者の皆さんには、端材を使って服の縫製を本格的に体験してもらいます。

対象/定員：高1-3年生の男女10名
(要予約、先着順)

お申し込みはこちらのQRコードから

キノコの庭園をつくろう!
9/27(土)・28(日)
13:00-17:00

残った布や切れはしで、色とりどりの「きのこ」の直をみんなで作ります。作る楽しさと、布の新しいおもしろさを体験できます。

対象/定員：どなたでもご参加いただけます
共催：金沢美術工芸大学「ワークショップ部ちきゅう」さん

DIイベント
交流スペースもあります!

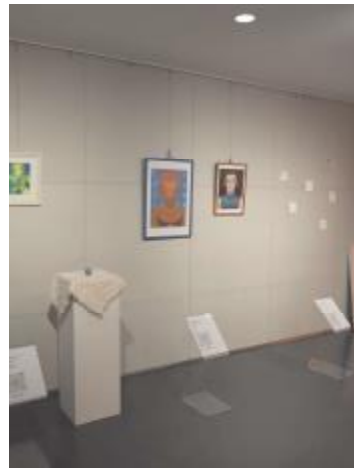
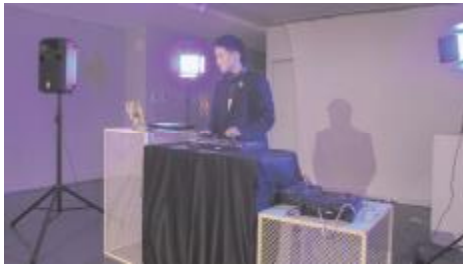
開催場所：金沢フォーラス6階 KUUGO スクウェア
参加費：無料
協力企業：株式会社ミヤモリ (小沢部市：衣料品の企画・製造)

左のワークショップの他、金沢美大生(彫刻専攻)による、消しゴムハンコの製作実演を会場内で行って頂き、10末月に豎町商店街内で開催したイベント(学生製作の衣料品の販売会)で活用。KBFの活動を説明するきっかけづくりとして、商品購入者のショッパーに、購入者自身で押印してもらった。



5. 私達の企画(番外編)





より多くの方々に知ってもらうため、KBFの報告展示を実施。9月のWSに参加した高校生も招待。改めてコミュニケーションを図った。



10/24(金)-11/3(月・祝)HARMONIE1-2階で展示販売会を開催。KBFの活動報告展示や、9月に接点を持った金大生、金沢美大生に加え、金沢学院大生と共に、彼ら/彼女らの作品展示会、並びに、DJイベントを開催。金沢マラソンや悪天候によって集客に苦しんだが、インバウンドを含め約600名の来場者と交流することが出来た。



次年度KBFを引き継ぐ私達の後輩達が、11/8(土)金沢市役所前広場で開催された、まちなか学生まつり2025にファッションショーで参加させて頂きました。寒い中でしたが、ステージに向かう途中、ストリートをランウェイに見立て、ウォーキングし、すれ違う方々やバスに乗った方々の視線を集めました。

6. 振り返って…

Revive



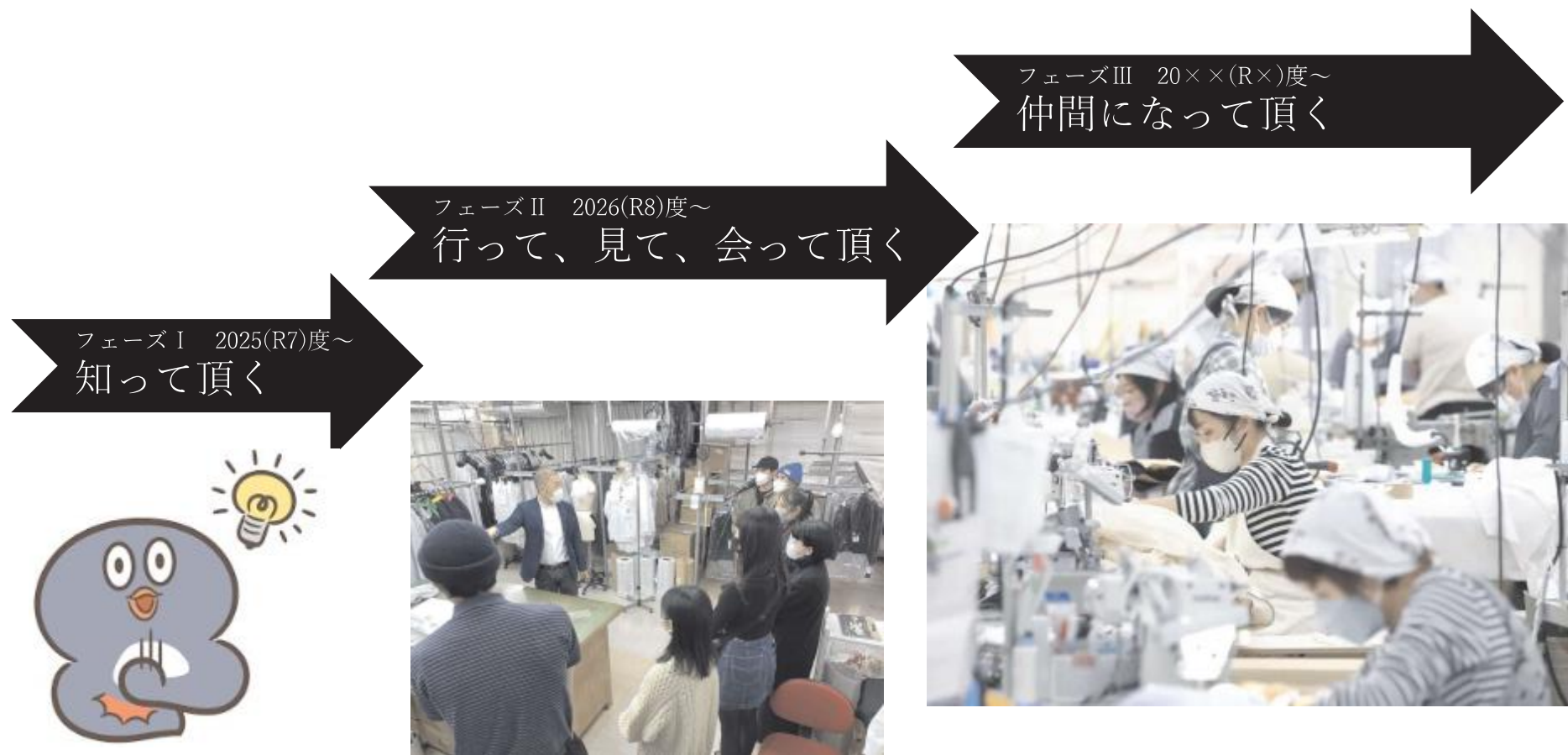
●反省(良かったこと、改善点・改善策)



7. 次年度以降の考え



7. 次年度以降の考え



8. 収支報告



Revive